

受理年月日	年 月 日
受 理 番 号	
備 考	

## 大規模小売店舗届出書

令和7年5月19日

兵庫県知事 様

名 称 株式会社トライアルカンパニー  
代表者 代表取締役 石橋 亮太  
住 所 福岡市東区多の津一丁目12番2号

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

### 記

#### 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称:スーパーセンタートライアル姫路四郷町店  
所在地:兵庫県姫路市四郷町見野字拂戸788番の一部 (ほか)

- 1 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名  
名 称:株式会社トライアルカンパニー  
代表者:代表取締役 石橋 亮太  
住 所:福岡市東区多の津一丁目12番2号
- 2 大規模小売店舗の新設をする日  
令和8年1月20日
- 3 大規模小売店舗内の店舗面積の合計  
4,215 m<sup>2</sup>



4 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

位置	収容台数
駐車場 建物北側 「付図3 建物配置図及び1階平面図」参照	215 台
合計	215 台

※ 総収容台数 290 台(うち、届出台数 215 台)

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

位置	収容台数
駐輪場① 建物北側 「付図3 建物配置図及び1階平面図」参照	40 台
駐輪場② 建物西側 「付図3 建物配置図及び1階平面図」参照	20 台
合計	60 台

※総収容台数 90 台(うち、届出台数 60 台)

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

位置	面積
荷さばき施設 建物北東側 「付図3 建物配置図及び1階平面図」参照	120 m <sup>2</sup>
合計	120 m <sup>2</sup>

(4) 廃棄物等保管施設の位置及び容量

位置	容量
廃棄物保管施設 建物北東側 「付図3 建物配置図及び1階平面図」参照	31.95 m <sup>3</sup>
合計	31.95 m <sup>3</sup>

5 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小売業者名	開店時刻	閉店時刻
株式会社ライアルカンパニー	午前0時00分	翌午前0時00分

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

駐車場 No.	駐車可能時間帯
駐車場	午前0時00分～翌午前0時00分

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

駐車場No.	出入口の数	位置
駐車場	出入口2箇所	出入口①:敷地西側 出入口②:敷地北側 「付図3 建物配置図及び1階平面図」参照
合計	2箇所	—

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき施設 No.	荷さばき可能時間帯
荷さばき施設	午前6時00分～午後10時00分



別添1 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

(1) 建物配置図

付図3 建物配置図及び1階平面図 参照

(2) 各階平面図

付図3 建物配置図及び1階平面図 参照

(3)

① 建物・敷地の概要

項目	計画内容
構造	鉄骨造
階数	地上1階
敷地面積	18,304 m <sup>2</sup>
建築面積	5,419 m <sup>2</sup>
延床面積	5,234 m <sup>2</sup>

② 各階ごとの店舗面積等

階数	店舗面積	延床面積
1階	4,215 m <sup>2</sup>	5,234 m <sup>2</sup>
合計	4,215 m <sup>2</sup>	5,234 m <sup>2</sup>

別添2 主として販売する物品の種類

小売業者の氏名又は名称	代表的な取扱品の種類
株式会社トライアルカンパニー	食料品・実用衣料・日用雑貨消耗品・家電製品・ホビー用品等



別添3 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

① 指針による必要駐車台数の算出

ア 小売店舗の必要駐車台数

事項等		各事項算出のための計算式等
地区の区分	その他地区	第一種中高層住居専用地域
行政人口	518,478 人	令和7年2月 住民基本台帳
S:店舗面積	4,215 千㎡	—
A:店舗面積当たり日來客数原単位	1,231.4 人/千㎡	1,400-40×S
B:ピーク率	14.4%	—
C:自動車分担率	65%	人口 40 万人以上 100 万人未満・その他地区
D:平均乗車人員	2 人/台	10,000 ㎡未満
E:平均駐車時間係数	0.8864	(30+5.5S) ÷ 60
必要駐車台数	215 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
ピーク時来台数	243 台/時	$A \times S \times B \times C \div D$
計画駐車場の収容台数	215 台	—

※総収容台数 290 台(内、届出台数 215 台)

② 駐車場の分散確保の有無

駐車場の分散確保の有無	理由
無	・ 指針に基づく必要駐車台数を満たす駐車台数を敷地内で確保するため。

③ 駐車場の料金の有無

駐車場の料金の有無	理由
無	・ 駐車料金を無料にすることにより、来退店車両の円滑な入出庫を図ります。

(2) その他駐車場の規模に関する計画

① 来客用以外に考慮する駐車台数

事項	面積	店舗用駐車場と 共用・別途の別	必要台数	備考
従業員等用駐車場	675.0 ㎡	共用	54 台	—
従業員駐車場	262.5 ㎡	別途	21 台	—
搬出入車両駐車場	—	—	0 台	—
合計			75 台	

② 駐車場の構造、収容台数、面積及び敷地の状況

駐車場番号	駐車場構造	収容台数	面積	駐車区画の大きさ			契約 形態
				一般用	軽自動車用	身障者用	
駐車場	平面自走式	269 台	3,360 ㎡	2.5×5.0	2.5×4.0	3.5×5.0	借地
合計	—	269 台	3,360 ㎡	253 台	11 台	5 台	—

※ 総収容台数 290 台(うち、届出台数 215 台、従業員共用 54 台、従業員専用 21 台)



別添4 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式等

① 駐車場の入庫処理能力

駐車場番号	出入口の場所	1時間当たり入庫処理能力		ピーク1時間に予想される自動車台数	
		台数	算出根拠	台数	算出根拠
駐車場	出入口① (敷地西側)	450台	3,600秒/(8秒/台)	89台	指針式より算出
駐車場	出入口② (敷地北側)	450台	3,600秒/(8秒/台)	154台	指針式より算出

② 敷地内の駐車待ちスペース

駐車場番号	出入口の場所	駐車待ちスペース	発券ブース	駐車待ちスペースがない場合
				設置しない理由・対策
駐車場	出入口① (敷地西側)	無	無	・ 指針による必要駐車待ちスペースの算出により、駐車待ちスペースは必要ないため。
駐車場	出入口② (敷地北側)	無	無	

(指針による必要駐車待ちスペース)

以下のとおり必要駐車待ちスペースを算出しました。

{(当該入口の1分当りの来台数×1.6)-(当該入口の1分当りの入庫処理可能台数)}×6(m)	
出入口①(敷地西側)	{(89台/60分×1.6)-(450台/60分)}×6=-30.76(m)
出入口②(敷地北側)	{(154台/60分×1.6)-(450台/60分)}×6=-20.36(m)

評価

入口部の来店車両の予測台数は、駐車場の処理能力を下回ります。

また、道路交通への影響についても、交差点需要率及び車線別混雑度は各基準を下回ります。

開店時や繁忙時等は状況に応じて交通誘導員による誘導を行い、前面道路への来退店車両の滞留等の回避に努めます。



(2) 方向別台数の予測結果等

① 敷地周辺の道路の状況

項目		道路No.1 (道路名:国道 312 号)	道路No.2 新設道路 (市道認定予定)
道路幅員		18.75m	9.5m
幅員構成	車線	11.75m	5.0m
	車線数	片側 1 車線	両側 1 車線
	歩道の有無	有 (両側:3.5m)	有(南側:2.5m)
	中央分離帯の有無	無	無
	路肩	片側 0.5m	片側 0.5m
交通規制		50km/h 追い越し禁止	-
店舗周辺の信号交差点数 (うち右折帯設置の交差点数)		1 交差点 (無)	0 交差点 (無)
横断歩道の有無		有	無
通学路の有無		無	無
バス路線の有無		有	無
バス停の有無		有	無
駐車場の出入口から敷地寄りのバス停ポールまでの距離		約 140m	-

② 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

ア 平日、日曜それぞれの交通量調査の結果及び開店後の周辺道路の交通量予測(交差点需要率)

地点	ピーク時間帯		現況		開店後	
			交通量	需要率	交通量	需要率
交差点 A (本郷)	休日	15 時台	877 台/時	0.242	1,055 台/時	0.287
	平日	17 時台	948 台/時	0.266	1,126 台/時	0.313
交差点 B	休日	15 時台	854 台/時	-	1,097 台/時	-
	平日	17 時台	916 台/時	-	1,159 台/時	-
交差点 C (見野)	休日	14 時台	1,026 台/時	0.298	1,334 台/時	0.391
	平日	16 時台	1,075 台/時	0.343	1,383 台/時	0.427
交差点 D (姫路東ランプ(北))	休日	15 時台	1,581 台/時	0.401	1,827 台/時	0.435
	平日	17 時台	1,922 台/時	0.529	2,168 台/時	0.563
交差点 E (姫路東ランプ(南))	休日	15 時台	1,637 台/時	0.480	1,828 台/時	0.509
	平日	17 時台	2,004 台/時	0.632	2,195 台/時	0.662

※ 現況交通量調査年月日:令和 5 年 9 月 18 日(月)(祝日)、19 日(火)



イ 平日、休日それぞれの交通量調査の結果(交差点の車線別混雑度)

休日	流入部A		流入部B		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	右	直	右	直	右
設計交通量	23		11		396		447	
交通容量	496		507		1,070		1,092	
混雑度	0.046		0.022		0.370		0.409	
需要率	0.242							

平日	流入部A		流入部B		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	右	直	右	直	右
設計交通量	24		3		436		485	
交通容量	513		513		1,049		1,070	
混雑度	0.047		0.006		0.416		0.453	
需要率	0.266							

イ 交差点C(見野)

休日	流入部A		流入部B		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	右	直	右	直	右
設計交通量	89		24		426		487	
交通容量	432		484		1,241		1,241	
混雑度	0.206		0.050		0.343		0.392	
需要率	0.298							

平日	流入部A		流入部B		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	右	直	右	直	右
設計交通量	139		19		420		497	
交通容量	446		474		1,229		1,179	
混雑度	0.312		0.040		0.342		0.422	
需要率	0.343							

交差点D(姫路東ランプ(北))

休日	流入部A		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	直	直	右
設計交通量	204	253	538		386	200
交通容量	825	422	1,404		1,386	939
混雑度	0.247	0.600	0.383		0.278	0.213
需要率	0.401					

平日	流入部A		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	直	直	右
設計交通量	269	393	586		428	246
交通容量	809	422	1,391		1,358	847
混雑度	0.333	0.931	0.421		0.315	0.290
需要率	0.529					



交差点E(姫路東ランプ(南))

休日	流入部A	流入部B		流入部C		流入部D	
	左直右	左直	右	直	右	左直	直
設計交通量	80	249	163	373	208	564	
交通容量	137	280	312	1,282	877	1,331	
混雑度	0.584	0.889	0.522	0.291	0.237	0.424	
需要率	0.480						

平日	流入部A	流入部B		流入部C		流入部D	
	左直右	左直	右	直	右	左直	直
設計交通量	118	324	176	447	264	675	
交通容量	136	268	296	1,243	831	1,274	
混雑度	0.868	1.209	0.595	0.360	0.318	0.530	
需要率	0.632						

ウ 平日、休日それぞれの開店後の周辺道路の交通量予測(交差点の車線別混雑度)

交差点A(本郷)

休日	流入部A	流入部B	流入部C	流入部D
	左直右	左直右	左直右	左直右
設計交通量	23	11	485	536
交通容量	496	507	1,081	1,092
混雑度	0.046	0.022	0.449	0.491
需要率	0.287			

平日	流入部A	流入部B	流入部C	流入部D
	左直右	左直右	左直右	左直右
設計交通量	24	3	525	574
交通容量	513	513	1,037	1,070
混雑度	0.047	0.006	0.506	0.536
需要率	0.313			

交差点C(見野)

休日	流入部A	流入部B	流入部C	流入部D
	左直右	左直右	左直右	左直右
設計交通量	120	24	580	610
交通容量	401	484	1,154	1,241
混雑度	0.299	0.050	0.503	0.492
需要率	0.391			

平日	流入部A	流入部B	流入部C	流入部D
	左直右	左直右	左直右	左直右
設計交通量	170	19	574	620
交通容量	423	474	1,155	1,192
混雑度	0.402	0.040	0.497	0.520
需要率	0.427			



交差点D(姫路東ランプ(北))

休日	流入部A		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	直	直	右
設計交通量	229	253	661		484	200
交通容量	825	422	1,404		1,386	893
混雑度	0.278	0.600	0.471		0.349	0.224
需要率	0.435					

平日	流入部A		流入部C		流入部D	
	左	直右	左直	直	直	右
設計交通量	294	393	709		526	246
交通容量	809	422	1,390		1,372	806
混雑度	0.363	0.931	0.510		0.383	0.305
需要率	0.563					

交差点E(姫路東ランプ(南))

休日	流入部A	流入部B		流入部C		流入部D	
	左直右	左直	右	直	右	左直	直
設計交通量	80	249	193	441	233	632	
交通容量	137	280	312	1,282	845	1,360	
混雑度	0.584	0.889	0.619	0.344	0.276	0.465	
需要率	0.509						

平日	流入部A	流入部B		流入部C		流入部D	
	左直右	左直	右	直	右	左直	直
設計交通量	118	324	206	515	289	743	
交通容量	136	268	300	1,256	802	1,295	
混雑度	0.868	1.209	0.687	0.410	0.360	0.574	
需要率	0.662						

※ 上記の網掛け部分については、設定経路に当たる車線です。

(3) その他の対応策

① 駐車場の設置に当たっての配慮

項目	具体的な内容
歩行者等の動線分離	・ 駐車場内には歩行者通路を確保し、主要な車路横断部には横断歩道の路面標示を行います。
駐車場からの排気ガス 近隣居住者への騒音	・ 掲示板等により不必要なアイドリングの禁止を来客者へ周知致します。 ・ 路面標示等により駐車場内の徐行運転の徹底を呼びかけます。

② 交通への支障を回避するための方策等

項目	具体的な内容
交通誘導員の配置	・ オープン時や繁忙時等には駐車場出入口付近に交通誘導員を配置し、歩行者の安全確保と車両の円滑な誘導を行います。



別添5 経路の設定等

(1) 自動車を駐車場に案内する経路及び方法

- ① 周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面  
「別紙 来退店経路図(周辺)」参照

(2) 経路等を来客者に知らせる方法、その他交通対策

項目	具体的な内容
チラシの配布	・ オープン時の新聞折込チラシ等に案内経路を掲載するとともに、店舗ホームページへ案内経路を掲載し、来退店経路を周知致します。
交通誘導員の配置	・ オープン時や繁忙時等には駐車場出入口付近に交通誘導員を配置し、歩行者の安全確保と車両の円滑な誘導を行います。
案内表示の設置	・ 駐車場出口には停止線等の路面表示を設置し、出庫車両に対して一旦停止を促します。また、駐車場内に方面別退店方向を案内する看板を設置します。 ・ 駐車場内には歩行者通路を確保し、主要な車路横断部には横断歩道の路面標示を行います。

別添6 荷さばき施設の整備等

(1) 搬出入車両台数と荷さばき時間帯

<荷さばき施設>

時間帯	搬出入車両の車種車両数		平均的な荷さばき処理時間 (1時間あたり)	廃棄物収集車両 パッカー車
	4t車	10t車		
午前6時～午前7時	1台	1台	4t車:20分 10t車:30分	2台/日 (処理時間10分)
午前7時～午前8時				
午前8時～午前9時	2台			
午前9時～午前10時	2台			
午前10時～午前11時	2台			
午前11時～午後0時	1台			
午後0時～午後1時	1台			
午後1時～午後2時				
午後2時～午後3時	2台			
午後3時～午後4時				
午後4時～午後5時	1台			
午後5時～午後6時	1台			
午後6時～午後7時				
午後7時～午後8時	1台			
午後8時～午後9時				
午後9時～午後10時	1台			
合計	15台	1台	—	

(2) 荷さばき施設の計画

① 荷さばき施設の形状・規模

施設番号	プラットホームの広さ	同時作業の可能な台数	待機スペースの有無
荷さばき施設	無	2台	無

② 荷さばき施設の規模の算出根拠

項目	予測数値
ピーク時における搬出入車両台数	4t車 2台



③ 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対応等
無	1箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業時間内の搬出入作業は、来店車両の通行の妨げとならないよう配慮します。</li> <li>・ 作業員には、一旦停止の遵守等の安全運転に努めるよう周知・徹底します。</li> </ul>

別添7 騒音問題に対応するための対応策

① 一般的騒音対策の概要

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
有	1.8m、3.0m	-	-	-

② 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の概要
荷さばき施設の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荷さばき施設は十分なスペースを確保し、荷さばき時間の短縮に配慮します。</li> </ul>
荷さばき作業の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不必要なアイドリングの禁止・ドア開閉音等作業音の静穏化について関係者に周知・指導を徹底します。</li> <li>・ 深夜、早朝における荷さばき作業は禁止します。</li> </ul>

③ BGM等の宣伝活動の予定

実施時間帯	拡声器の数	具体的な騒音対策の内容
無	-	-

④ 駐車場の騒音対策の概要

駐車場番号	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場の車両通行部分の段差を極力なくします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路面標示等により駐車場内の徐行運転の徹底を呼びかけます。</li> </ul>

⑤ 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
屋外	午前6時 ～ 午後10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 極力段差の無い構造と致します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物収集車両の不必要なアイドリングの禁止について関係者に周知徹底します。</li> <li>・ 深夜、早朝における廃棄物収集作業を禁止します。</li> </ul>



⑥ 付帯設備の稼働時間帯と騒音対策

付帯設備の種類	稼働予定時間帯	位置	騒音対策
キュービクル	24 時間	別紙 「騒音源及び 予測地点配置図」 参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音型機器を導入します。</li> <li>定期点検を行い、異常騒音の発生防止に努めます。</li> </ul>
冷凍機室外機			
空調機室外機	午前6時00分～午後10時00分 一部24時間		
換気口	午前6時00分～午後10時00分 一部24時間		

別添8 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果と算出根拠

① 各予測地点における等価騒音レベルの予測結果

(昼間)

※詳細は別添騒音予測資料「平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル計算過程」を参照して下さい。

騒音発生源	昼間										
	A 地点		B 地点			C 地点		D 地点		E 地点	
	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	7.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m
等価騒音レベル(定常騒音)(dB)	34	34	26	28	31	33	33	42	42	39	42
等価騒音レベル(変動騒音)(dB)	15	18	16	19	22	29	29	35	36	16	21
等価騒音レベル(衝撃騒音)(dB)	<10	10	<10	11	15	22	22	19	22	<10	14
自動車走行騒音以外の等価騒音レベル(dB)	34	35	26	29	32	35	35	43	43	39	42
等価騒音レベル(自動車走行音)(dB)	45	45	52	52	52	45	45	41	41	34	35
騒音全体の等価騒音レベル(dB)	45	45	52	52	52	45	45	45	45	40	43
環境基準(dB)	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55

(夜間)

※詳細は別添騒音予測資料「平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル計算過程」を参照して下さい。

騒音発生源	夜間										
	A 地点		B 地点			C 地点		D 地点		E 地点	
	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	7.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m
等価騒音レベル(定常騒音)(dB)	34	34	23	26	29	25	25	34	35	39	42
等価騒音レベル(変動騒音)(dB)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
等価騒音レベル(衝撃騒音)(dB)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自動車走行騒音以外の等価騒音レベル(dB)	34	34	23	26	29	25	25	34	35	39	42
等価騒音レベル(自動車走行音)(dB)	41	41	44	44	44	38	38	34	34	31	32
騒音全体の等価騒音レベル(dB)	41	41	44	44	44	38	38	37	38	40	42
環境基準(dB)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45

<評価>

全ての予測地点において、昼間及び夜間の等価騒音レベルは環境基準を満たします。

なお、変動騒音及び衝撃騒音について、壁面等の反射は予測に考慮しておりませんが、夜間の予測地点Bを除き予測値は環境基準に対して3dB以上の差があるため、反射音を考慮しても基準内であると考えます。

予測地点Bについては、影響の大きい音源は自動車走行音であり、周辺に建物やその他建築物がないため、反射による影響は少ないと考えます。

従って、周辺環境への騒音の影響は軽微であると考えます。



別添9 夜間において発生する騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果と算出根拠

※計算は別添騒音予測資料「騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値計算過程」を参照して下さい。

騒音発生源	夜間										
	a地点		b地点			c地点		d地点		e地点	
	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	7.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m
定常騒音の最大値(dB)	31	31	15	18	22	22	22	39	50	30	37
変動騒音中の最大値(dB)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
衝撃騒音中の最大値(dB)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自動車走行音中の最大値(dB)	72	62	46	46	46	72	62	38	38	38	37
規制基準(dB)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45

予測地点 e において、騒音レベル最大値は規制基準を満たします。

予測地点 a・b・c・d において、騒音レベル最大値は規制基準を上回ります。

そこで、予測地点 a・c・d については保全対象側(隣地敷地境界)、予測地点 b については店舗敷地境界と隣地敷地境界が同一のため保全対象側(直近住居外壁)において再度予測いたしました。

【保全対象側(隣地敷地境界)】

騒音発生源	夜間					
	a'地点		c'地点		d'地点	
	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m
定常騒音の最大値(dB)	28	28	21	21	37	44
変動騒音中の最大値(dB)	-	-	-	-	-	-
衝撃騒音中の最大値(dB)	-	-	-	-	-	-
自動車走行音中の最大値(dB)	47	47	49	48	38	38
規制基準(dB)	45	45	45	45	45	45

予測地点 d' において、騒音レベル最大値は規制基準を満たします。

予測地点 a'・c' において、騒音レベル最大値は規制基準を上回ります。

そこで、保全対象側(直近住居外壁)において再度予測いたしました。

【保全対象側(直近住居外壁)】

騒音発生源	夜間						
	a''地点		b''地点			c''地点	
	1.2m	4.2m	1.2m	4.2m	7.2m	1.2m	4.2m
定常騒音の最大値(dB)	26	26	15	18	21	20	20
変動騒音中の最大値(dB)	-	-	-	-	-	-	-
衝撃騒音中の最大値(dB)	-	-	-	-	-	-	-
自動車走行音中の最大値(dB)	44	44	45	45	45	42	42
規制基準(dB)	45	45	45	45	45	45	45

<評価>

全ての予測地点において、騒音レベル最大値は規制基準を満たします。

予測地点 a''・b'' について、規制基準と予測値の差が 3dB 以内ですが、影響の大きい音源は自動車走行音であり、周辺に建物やその他建築物がないため、反射による影響は少ないと考えます。

従って、周辺環境への騒音の影響は軽微であると考えます。



別添 10 廃棄物等の保管のための施設容量の確保等

(1) 廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

① 指針による予測結果と算出根拠

廃棄物 種別	S:店舗面積		A:1日当たり 廃棄物排出量 指針原単位×S	B: 平均保 管日数	C: 見かけ比 重(t/m <sup>3</sup> )	排出 予測量 A×B÷C
	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>				
紙製廃棄物等 (再資源可能なものに限る)	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>	0.877t	1.00 日	0.10	8.77 m <sup>3</sup>
	6000 m <sup>2</sup> 超					
			計 0.877t			
金属製廃棄物 (アルミ製・スチール製の容器等)	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>	0.030t	1.00 日	0.10	0.30 m <sup>3</sup>
	6000 m <sup>2</sup> 超					
			計 0.030t			
ガラス製廃棄物 (ガラス製の容器)	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>	0.025t	1.00 日	0.10	0.25 m <sup>3</sup>
	6000 m <sup>2</sup> 超					
			計 0.025t			
プラスチック製廃棄物 (食料容器、食料品トレイ等)	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>	0.084t	1.00 日	0.01	8.40 m <sup>3</sup>
	6000 m <sup>2</sup> 超					
			計 0.084t			
生ごみ等 (食品廃棄物等)	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>	0.712t	1.00 日	0.55	1.29 m <sup>3</sup>
	6000 m <sup>2</sup> 超					
			計 0.712t			
その他の 可燃性廃棄物等	6000 m <sup>2</sup> 以下	4.215 千m <sup>2</sup>	0.228t	1.00 日	0.38	0.60 m <sup>3</sup>
	6000 m <sup>2</sup> 超					
			計 0.228t			
					合計	19.61 m <sup>3</sup>

(2) 廃棄物等の保管場所の計画

① 廃棄物保管施設の計画

<廃棄物保管施設>

施設番号	容量	面積	排出方法	洗浄方法	附属設備の概要
生ごみ・可燃等	3.20 m <sup>3</sup>	2.13 m <sup>2</sup>	業者委託	水洗	—
合計	3.20 m <sup>3</sup>	2.13 m <sup>2</sup>			

② リサイクル品(再利用対象物)保管施設の計画

<廃棄物保管施設>

施設番号	容量	面積	回収方法	洗浄方法	附属設備の概要
ダンボール等	14.4 m <sup>3</sup>	9.6 m <sup>2</sup>	業者委託	水洗	—
金属・ガラス等	1.0 m <sup>3</sup>	0.67 m <sup>2</sup>	業者委託	水洗	—
プラスチック等	13.35 m <sup>3</sup>	8.9 m <sup>2</sup>	業者委託	水洗	—
合計	28.75 m <sup>3</sup>	19.17 m <sup>2</sup>			

別添 11 廃棄物等の運搬・処理等の計画

(1) 廃棄物の運搬・処理計画

① 廃棄物等の種類と処理方法の区分

廃棄物等の種類	敷地外処理	敷地内処理	その他
ダンボール等	○		
金属製廃棄物	○		
ガラス製廃棄物	○		
プラスチック製廃棄物	○		
生ごみ・可燃性	○		



② 廃棄物等の運搬方法

廃棄物等の種類	運搬の方法	業者	運搬頻度
ダンボール等	業者委託	許可業者	7回/週
金属製廃棄物	業者委託	許可業者	7回/週
ガラス製廃棄物	業者委託	許可業者	7回/週
プラスチック製廃棄物	業者委託	許可業者	7回/週
生ごみ・可燃性	業者委託	許可業者	7回/週

(2) 廃棄物等の分別・リサイクル計画

廃棄物等の種類	発生子測量(t/年)	ゴミ処分量(t/年)	資源化量(t/年)
ダンボール等	320.105	0	320.105
金属製廃棄物	10.95	0	10.95
ガラス製廃棄物	9.125	0	9.125
プラスチック製廃棄物	30.66	0	30.66
生ごみ・可燃性	343.1	343.1	0
合計	713.94	343.1	370.84

(3) 廃棄物等に関連する対応方策

項目	具体的な方法・内容
悪臭対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物等保管施設は建物内に設置し、周辺への廃棄物の散逸を防止します。</li> <li>廃棄物等保管施設は、定期的に清掃し、清潔性を保持します。</li> </ul>
廃棄物の減量化	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物は、廃棄物の排出抑制や資源ごみの分別を通じた廃棄物の減量化に努めるとともに、排出する廃棄物は適正に処理いたします。</li> </ul>

別添 12 その他指針関連事項

(1) 大規模小売店舗の立地環境

① 計画地の周辺環境

計画店舗は西側で国道 312 号に面しております。

北側は老人ホーム及び住居、東側は農地、西側は国道を挟み店舗及び住居、南側は住居及び農地となっております。

② 用途地域

第一種中高層住居専用地域、準住居地域(「付図2 周辺見取図」参照)

③ 最寄り駅からの距離

JR 神戸線「御着駅」より約 1,360m



(2) 駐輪場の計画

① 駐輪場台数の予測の結果と算出根拠

店舗面積	4,215 m <sup>2</sup>
必要駐輪台数	60 台
算出根拠	既存類似店舗の実績に基づく算出(下表のとおり)

計画店舗と同業態の既存店舗の内、店舗面積や立地特性(「行政人口」、「可住地人口密度」、「最寄り駅からの距離」など)に類似性が認められる3店舗(「宇部店」、「飯塚店」、「水巻店」)を選定し、各店舗の実績を基に計画店舗の必要駐輪台数を算出しました。

店舗名	宇部店	飯塚店	水巻店	計画店舗
所在地	山口県宇部市	福岡県飯塚市	福岡県水巻町	姫路市四郷町
店舗面積	3,927 m <sup>2</sup>	5,400 m <sup>2</sup>	4,265 m <sup>2</sup>	4,215 m <sup>2</sup>
営業時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
海拔	3.7m	17.4m	4.7m	5.5m
行政人口	161,097 人	126,118 人	27,464 人	519,484 人
人口密度	560 人/km <sup>2</sup>	584 人/km <sup>2</sup>	2,539 人/km <sup>2</sup>	973 人/km <sup>2</sup>
可住地人口密度	1,238 人/km <sup>2</sup>	1,249 人/km <sup>2</sup>	2,553 人/km <sup>2</sup>	2,878 人/km <sup>2</sup>
最寄り駅からの距離	約 1,000m	約 650m	約 900m	約 1,200m
在庫台数(調査日ピーク時)	40 台	30 台	47 台	-
来客数比率(年最繁忙日/調査日)	1.38	1.58	1.29	-
在庫台数(年最繁忙日)	55 台	48 台	61 台	-
必要駐輪台数(計画店舗)※	59 台	37 台	60 台	60 台

※必要駐輪台数(計画店舗)については、各既存店舗の在庫台数(年繁忙日)に、各既存店舗の店舗面積と計画店舗の店舗面積の比率を乗じて算出しております。

② 駐輪場の管理体制

項目	具体的な方法・内容
整理員等の配置	・ 従業員により、適宜駐輪場の整理を行います。

(3) 荷さばき施設の計画

① 荷さばきに必要な作業スペース、安全性の確保

荷さばき施設	想定する車両	作業スペースの位置及び大きさ	対応
荷さばき施設 (付図3 参照)	4t 車 15 台 10t 車 1 台 計 16 台/日	幅:8.0m 奥行:15.0m 高さ:青空	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業時間内の搬出入作業は、来店車両の通行の妨げとならないよう配慮します。</li> <li>・ 作業員には、一旦停止の遵守等の安全運転に努めるよう周知・徹底します。</li> </ul>

② 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対応等
無	1 箇所	・ 作業員には、一旦停止の遵守等の安全運転に努めるよう周知・徹底します。

(4) 廃棄物の減量化及びリサイクルについての計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)』に則り、廃棄物の減量化及び資源化に努めます。</li> <li>・ 『姫路市廃棄物の処理及び清掃に関する条例』に則り、廃棄物の排出抑制及び適正な処理に努めます。</li> <li>・ 廃棄物は分別、整理して保管し、ダンボール、空き缶、空き瓶、発泡スチロール等はリサイクル業者に引き渡す計画です。</li> </ul>
--



(5) 歩行者の通行の利便の確保のための計画

項目	具体的な方法・内容
歩行者通行の利便性確保のための対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場出口には停止線等の路面表示を設置し、出庫車両に対して一旦停止を促します。また、駐車場内に方面別退店方向を案内する看板を設置します。</li> <li>・ 駐車場内には歩行者通路を確保し、主要な車路横断部には横断歩道の路面標示を行います。</li> <li>・ オープン時や繁忙時等には駐車場出入口付近に交通誘導員を配置し、歩行者の安全確保と車両の円滑な誘導を行います。</li> </ul>

(6) 防災・防犯対策への協力

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員等による巡回を行い、防犯対策に努めます。</li> <li>・ 具体的な協力要請があれば、可能な範囲内で必要な協力をします。</li> </ul>
---

(7) 街並みづくり等への配慮に関する事項

① 街並みづくり計画の有無とその内容

当該計画地には街並みづくり等の計画はありません。

② 街並みづくり等への配慮事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画施設周辺の清掃等、街並みの美化に努めます。</li> <li>・ 植栽により、敷地内に緑地を設けます。</li> </ul>
---

③ 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法	根拠
18,303.72 m <sup>2</sup>	3,274.34 m <sup>2</sup> (控除できる部分 1,932.06 m <sup>2</sup> を除いた敷地面積に対して 20%)	シロツメクサ グラスパーキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『兵庫県環境の保全と創造に関する条例』に基づき、建築物及び敷地について必要な緑化を行います。</li> </ul>

④ 景観への配慮

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観法、姫路市景観計画、姫路市屋外広告物条例、姫路市都市景観条例に基づいた計画としております。</li> </ul>
---

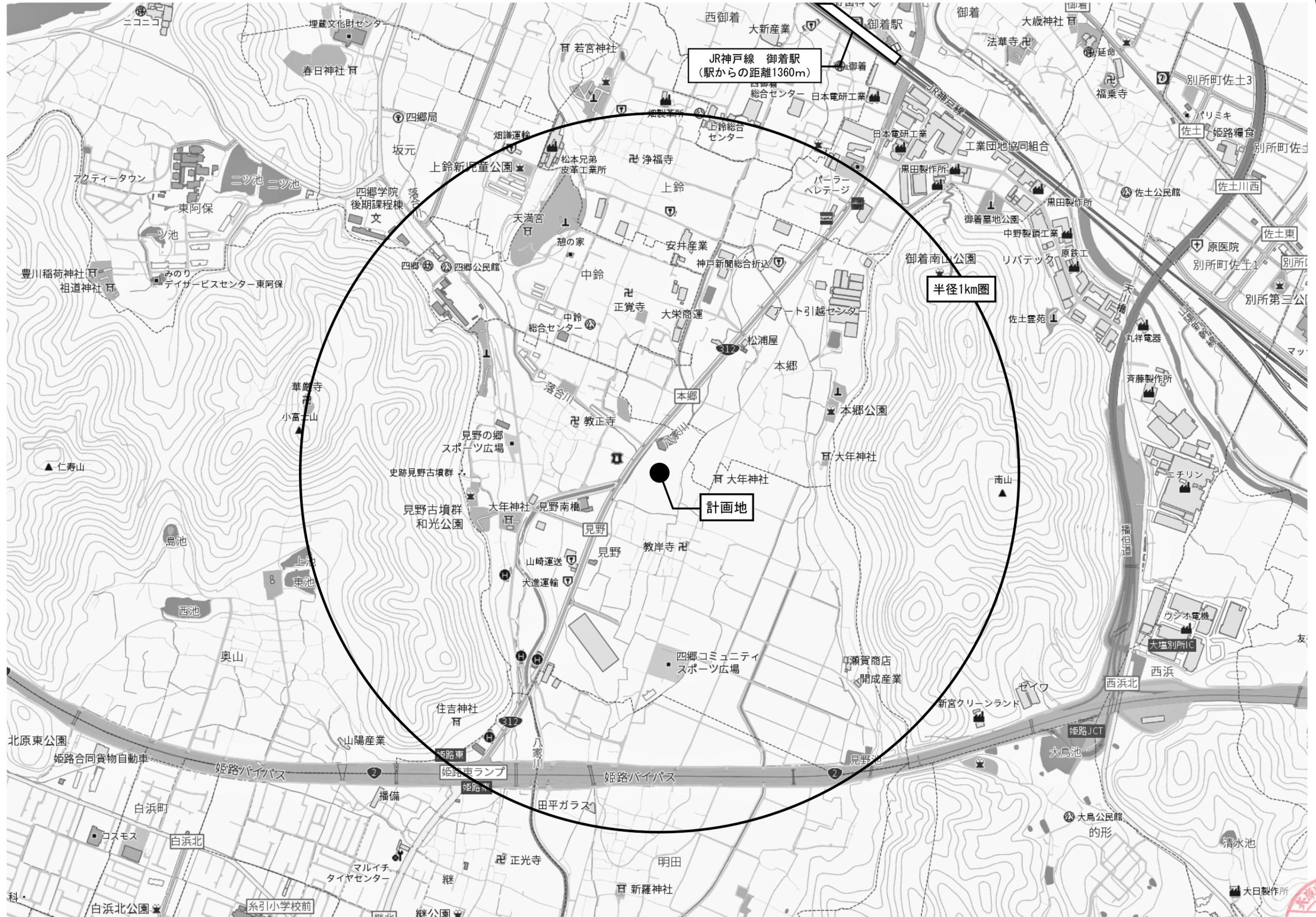
⑤ 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

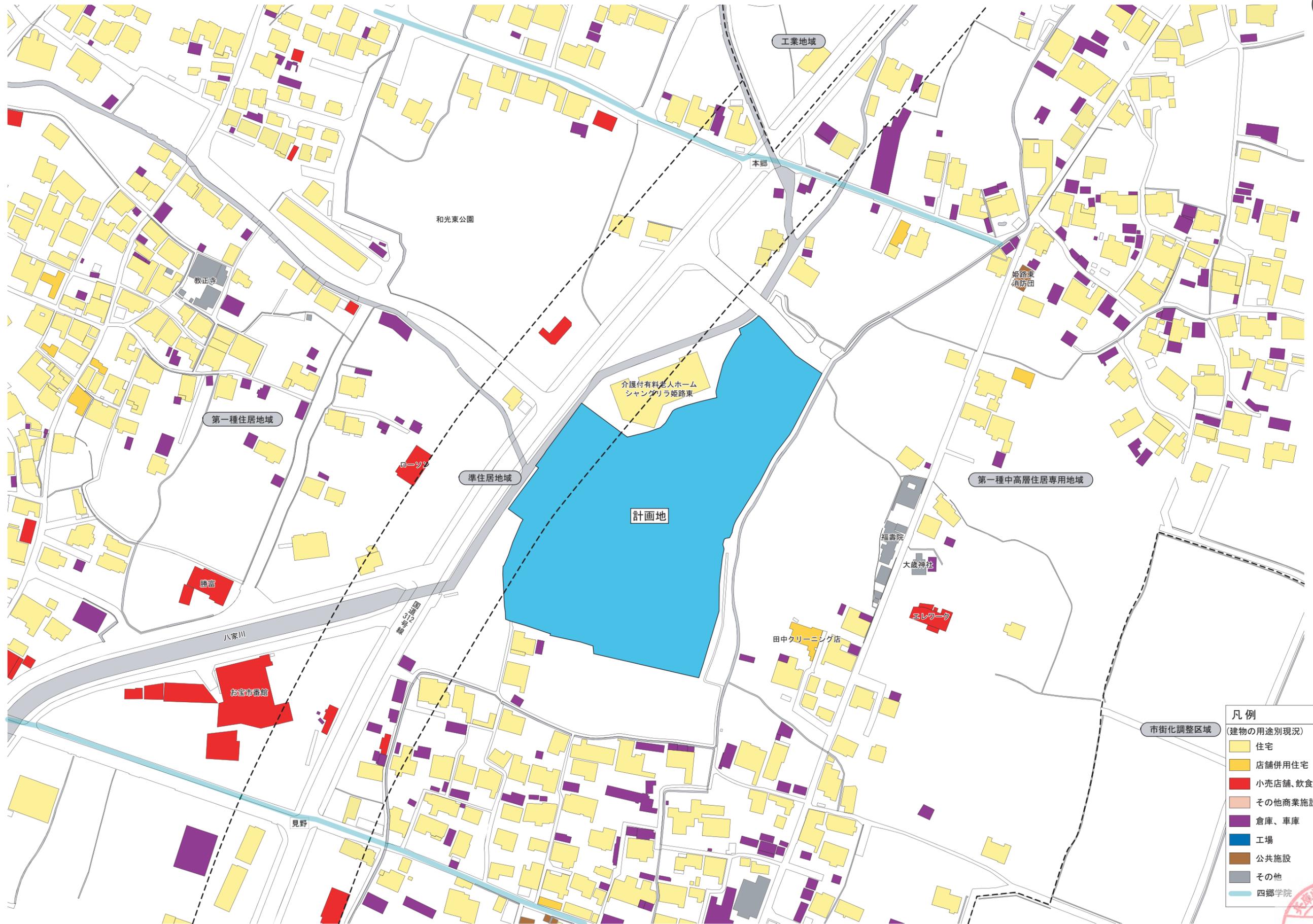
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明装置の位置及び明るさ、照射方向、点灯時間を考慮し、光害とならないように配慮致します。</li> </ul>
--

⑥ 市町等の公的計画への協力

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な協力要請があれば、可能な範囲内で必要な協力をします。</li> </ul>
--







凡例  
(建物の用途別現況)

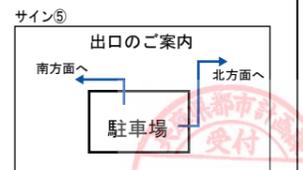
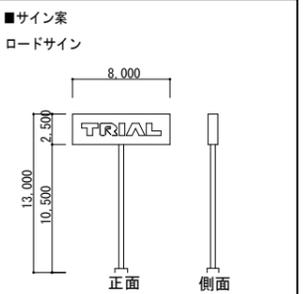
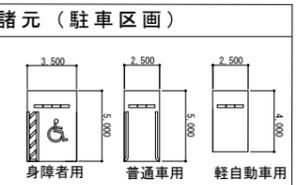
住宅
店舗併用住宅
小売店舗、飲食店、事務所
その他商業施設
倉庫、車庫
工場
公共施設
その他
四郷学院



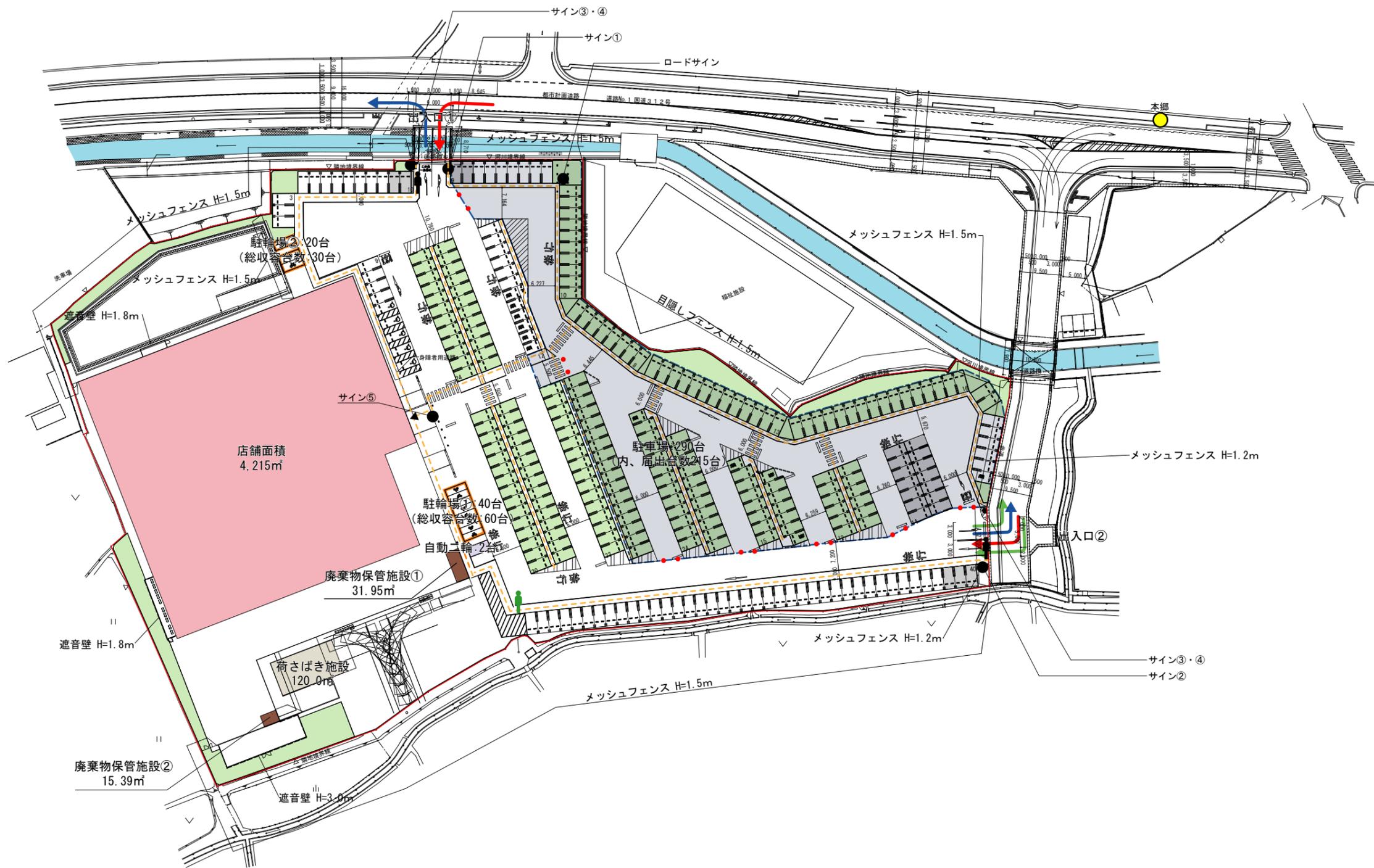


**【夜間駐車場利用制限】**  
 22:00~6:00  
 ● 埋め込み式バリカー  
 21時から従業員の声替えを行い  
 22時にバリカーを設置します。

- 凡例**
- 物販店舗
  - 荷さばき施設  
15.0×8.0=120.0㎡
  - 廃棄物保管施設  
①:3.0×7.1×1.5=31.95㎡  
②:2.7×3.8×1.5=15.39㎡  
合計 47.34㎡
  - 駐輪場
  - 緑地
  - 従業員専用駐車場
  - 敷地境界線
  - 交通誘導員 (オープン時・繁忙時)
  - 荷受け誘導員 (搬入時)
  - 案内看板・注意喚起看板
  - 来店経路
  - 退店経路
  - 搬入経路
  - 歩行者・自転車動線
  - バス停



■敷地内の緑化について  
 敷地面積: 18,303.72㎡  
 必要面積: (18,303.72㎡-1,932.06㎡) × 20%  
 =3,274.34㎡  
 計画面積: 3,362.88㎡



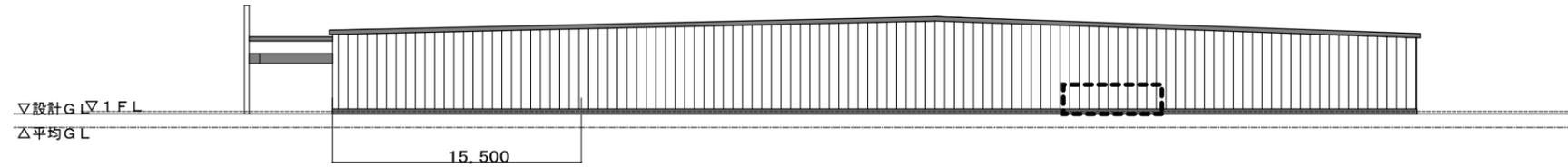
付図3 建物配置図及び1階平面図

凡例
 遮音壁

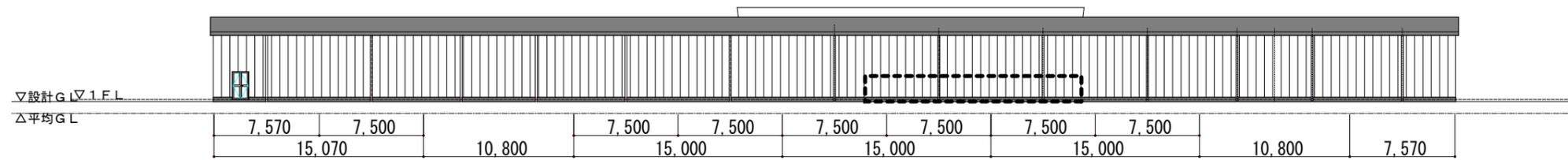
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図



## チェックリスト

大規模集客施設条例及び大規模小売店舗立地法の手続時には、計画施設における配慮事項への具体的な対応について下表の右欄に記入し、届出書類と併せて提出してください。

なお、ガイドラインで示した配慮事項によることが困難な場合、個別の計画に応じた安全性を確保するための措置を対応欄に記載願います。

分類	配慮事項	対応欄
(1) 駐車場出入口		
①	駐車場出入口の間口の長さは原則6m以下とし、出庫車線は原則1車線とすること。	出入口①は見通し確保及び安全な相互通行のため間口は9mですが、歩行者・自転車動線の設置により、自動車の有効幅員は6m、各出入車線幅が3mであり、軽車両でも並列出庫できない車線構成とします。出入口②については、搬入車両の出入庫を行うため、間口は12mですが、歩行者自転車動線の設置、ゼブラ表示により自動車の有効幅員は6m、各出入車線幅が3mであり、軽車両でも並列出庫できない車線構成とします。
②	駐車場出口においては、前面道路に対する視認性を確保すること。	駐車場出口部は左右に十分な視距を確保します。また、駐車場出口部付近には柵等の見通しを妨げる構造物は設置しません。
③	入庫ゲートを設置する場合は、道路境界から6m以上の距離を確保すること。	—
④	繁忙時等は、駐車場の出入口に交通誘導員を配置し、歩行者等の安全を確保すること。	開店時及び繁忙時等は、各出入口部に交通誘導員を配置し、歩行者等の安全の確保を図ります。また、駐車場各出入口部には歩行者に注意する旨の注意喚起看板を設置します。
⑤	駐車場出入口及び出入庫ゲート付近の車路に勾配がある場合、停止位置は平坦とするよう努めること。	駐車場出入口付近は平坦な構造とします。
⑥	駐車場出入口付近には、路面標示や標識等による分かりやすい案内及び注意喚起を行うよう努めること。	駐車場出入口付近には、案内看板及び路面標示を設置します。

(2)車路		
①	路面標示や標識等により分かりやすい誘導を行うよう努めること。特に、車路の交差部では路面標示等により優先性の明確化に努めること。	駐車場内は路面標示により分かりやすい誘導を行います。 なお、車路交差部では停止線の路面標示により優先性を明確化します。
②	駐車場の車路は、一方通行とするなど単純で分かりやすいレイアウトとするよう努めること。	駐車場の車路は歩行者・自転車動線も含めて広く確保することで、相互通行としますが、主要な車路の交差部に停止線を設置する等の路面標示による誘導を行います。
③	徐行を徹底するため路面標示やハンプの設置等を行うよう努めること。	車両の走行速度が上がりやすい車路は駐車場内に徐行の路面標示を行います。
④	建物配置等により車路の見通しが悪い場合は、注意喚起の表示やカーブミラーの設置等の安全対策を行うよう努めること。	駐車場内は単純な車路とし、主要な車路交差部では停止線を標示するほか、左右に十分な視距を確保します。
⑤	主要な車路の分岐点等には出口への進路を示すほか、出口によって退店する方面が異なる場合は、その方面を併せて表示するよう努めること。	駐車場内には適切に誘導標示を行います。
⑥	駐車場出入口付近の車路は、円滑な出入庫が可能となるよう単純な形状とすること。	各駐車場出入口部は単純な形状とします。
分類	配慮事項	対応欄
(3)駐車マス		
①	必要駐車台数を確保するために設置される駐車マスの大きさは、原則幅 2.5m以上、奥行 5.0m以上とすること。	来客用の駐車区画は幅 2.5m、奥行 5.0mとします。
②	障害者等用駐車マスは、安全に乗降できるスペースを設けるよう努めること。	障害者等用駐車マスの周囲には、安全に乗降できるスペースを確保するとともに、駐車マスは店舗出入口付近の配置とします。
③	障害者等用駐車マスは、原則複数設置とし、建物出入口等までの経路が極力短くなる位置とすること。	車いす利用者などが円滑に移動できるよう、障害者等用駐車マスは建物出入口付近に複数設置します。
④	複合的な商業施設などで長時間の滞在や高齢者、障害者等の利用が相当程度見込まれる場合は、停車スペースを設けるよう努めること。	—
⑤	大規模な駐車場等で駐車マスの空き状況の確認が困難な場合は、満空表示等により運転者の負担軽減に努めること。	満空表示等の設置は行いませんが、オープン時及び繁忙時は交通誘導員等を配置し、空き駐車マスに円滑に誘導します。
⑥	来客用駐車マスは、円滑な出入庫を妨げないよう、駐車場出入口付近を避けて配置するよう努めること。	円滑な入庫を促すため、来客用駐車マスは可能な限り駐車場出入口付近を避けた位置に配置します。

(4) 歩行者用通路		
①	駐車マスから建物出入口等までの歩行者用通路は、原則として幅員1 m以上の識別しやすいものとし、車路の横断箇所を極力少なくすること。	駐車マスから建物出入口等までの歩行者用通路は1 m以上の幅員を確保します。
②	島状に配置した駐車マスの背面に歩行者用通路を設ける場合は、車止めを設置するとともに、注意喚起の表示により、歩行者の安全確保を図ること。	島状に配置した駐車マスの背面に歩行者用通路を設ける場合は、車止めを設置します。
③	自転車使用者が利用する歩行者用通路は、幅員2 m以上とすること。	自転車使用者が利用する歩行者用通路部においては、2 m以上の幅員を確保します。
④	障害者等用駐車マスから建物出入口等までの歩行者用通路は、車両の動線と交錯しないようにすること。	障害者等用駐車マスから建物出入口等までの歩行者用通路は、車両の動線と交錯しないよう配置します。
⑤	建物が複数棟ある場合は、建物間の動線計画に配慮した歩行者用通路を確保すること。	—
分類	配慮事項	対応欄
(5) その他		
①	歩行者用通路、駐輪場、建物等に面する位置に車路や駐車マスを設置する場合は、防護柵を設けるよう努めること。	駐輪場、建物面に接する位置に駐車マスの設置はありません。歩行者用通路に面した駐車マスには車止めの設置を行います。
②	営業時間内に搬出入車両等が来客用駐車場を利用する場合は、交通誘導員の配置などの安全対策を講じること。	通勤・通学時間帯の搬入車両の入出庫時は、荷受け誘導員を配置し、歩行者等の安全対策を行います。
③	駐輪場の位置は、自転車動線が建物出入口前などの人が集中する箇所を通過しないよう配慮すること。	来客用の駐輪場については店舗入口正面への配置を避けるとともに、可能な限り歩行者・自転車の動線を分離することで歩行者との交錯を抑制します。

④	駐車場内にショッピングカート置場を設ける場合は、適切な位置に設けるよう努めること。	ショッピングカートについては、風除室及び身障者マス付近に配置します。従業員が定期的に敷地内を巡回し、駐車場内等に散乱しているカートは回収します。
⑤	駐車場の一部で夜間における利用を制限する場合は、制限時も適切な動線を確認すること。	夜間利用制限を行う場合は、適切な動線を確認します。
⑥	夜間又は建物内の駐車場においては、障害物や案内標識を明確に認識できる照明施設を設けるよう努めること。	夜間の駐車場内において、障害物や案内標識を明確に認識できる照明施設を設置します。(維持照度 5lx 以上)
⑦	駐車場や駐輪場は人の視線が確保できる場所に配置し、必要に応じて防犯設備等を設けるよう努めること。	駐車場や駐輪場は人の視線が確保できる場所に配置します。
⑧	グラスパーキングとする場合は、日照、長時間駐車の可能性、出入庫の頻度等を勘案して駐車マスを配置するよう努めること。	グラスパーキングの配置について、日照時間や利用想定頻度に配慮した計画とします。
⑨	計画地が信号交差点の角地等で、通り抜け車両の発生が懸念される場合は、駐車場内の安全確保のための対策を講じるよう努めること。	—
⑩	道路に面する位置に駐車マスや駐輪場を設ける場合は、道路から直接駐車や駐輪ができないよう対策を講じること。	道路から直接駐車できる駐車マスや駐輪場の計画はありません。

## 大規模小売店舗計画概要書

名 称	スーパーセンタートライアル姫路四郷町店			
所 在 地	兵庫県姫路市四郷町見野字拂戸 788 番の一部 ほか			
届出種別	法第 5 条第 1 項			
新設又は変更年月日	令和 8 年 1 月 20 日			
店舗面積の合計	4,215 m <sup>2</sup>			
営業時間	開店時刻	午前 0 時 00 分	閉店時刻	翌午前 0 時 00 分
駐 車 場	位 置	配置図参照	収容台数	215 台 (総収容台数 290 台)
	利用可能時間帯	午前 0 時 00 分～翌午前 0 時 00 分		
	出入口の数	2 箇所	出入口の位置	配置図参照
駐 輪 場	位 置	配置図参照	収容台数	60 台 (総収容台数 90 台)
荷さばき施設	位 置	配置図参照	面 積	120 m <sup>2</sup>
	作業時間帯	午前 6 時 00 分～午後 10 時 00 分		
廃棄物等保管施設	位 置	配置図参照	容 量	31.95 m <sup>3</sup>

○添付書類：配置図

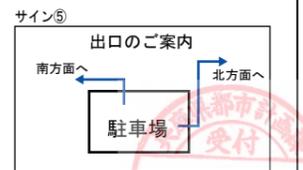
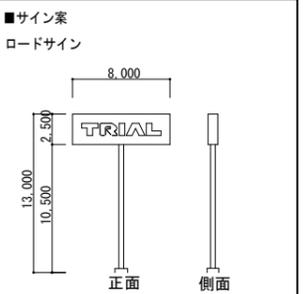
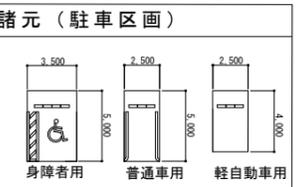
○変更事項については、変更前・後の内容を 2 段書きすること。



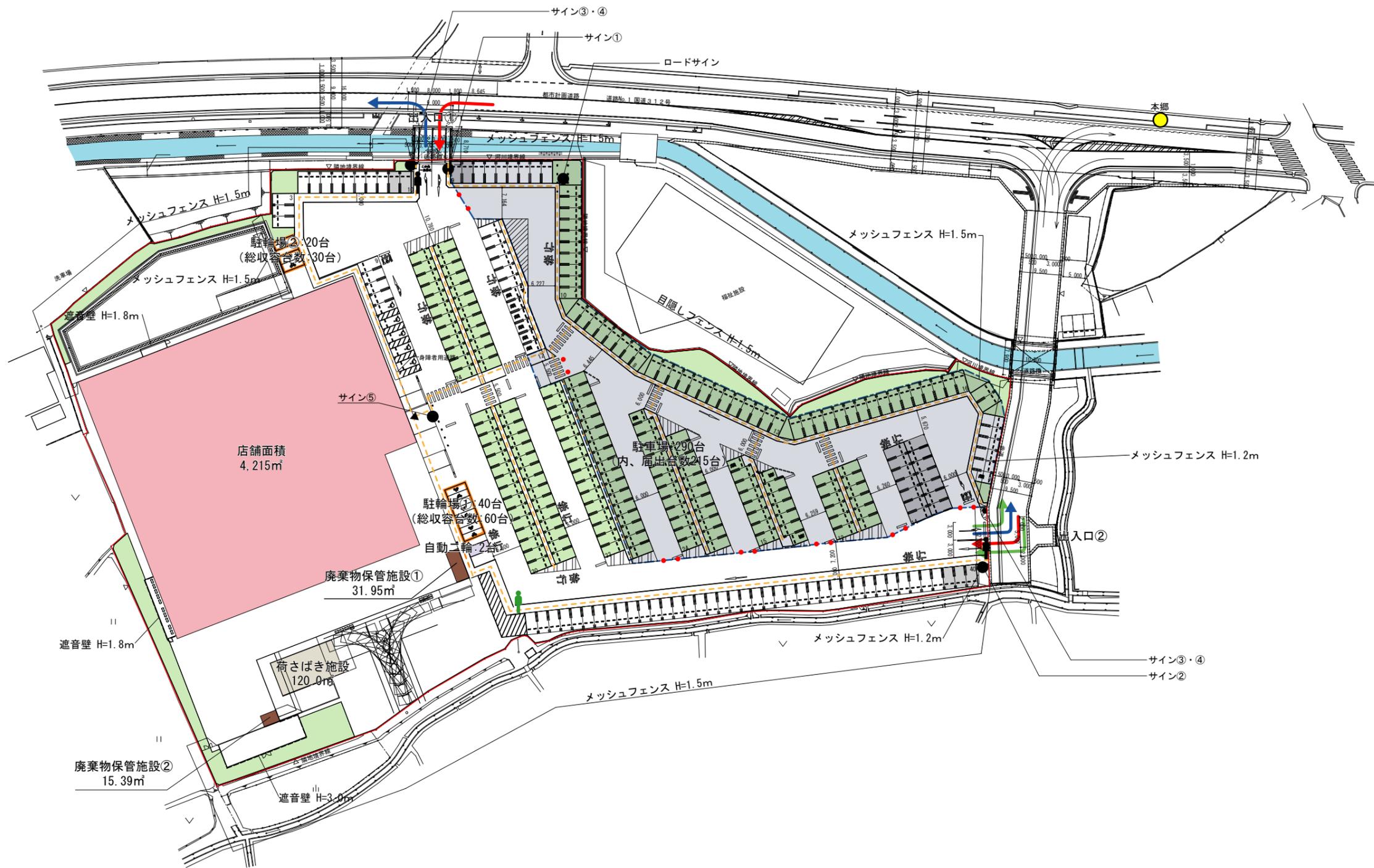


**【夜間駐車場利用制限】**  
 22:00~6:00  
 ● 埋め込み式バリカー  
 21時から従業員の声替えを行い  
 22時にバリカーを設置します。

- 凡例**
- 物販店舗
  - 荷さばき施設  
15.0×8.0=120.0㎡
  - 廃棄物保管施設  
①:3.0×7.1×1.5=31.95㎡  
②:2.7×3.8×1.5=15.39㎡  
合計 47.34㎡
  - 駐輪場
  - 緑地
  - 従業員専用駐車場
  - 敷地境界線
  - 交通誘導員 (オープン時・繁忙時)
  - 荷受け誘導員 (搬入時)
  - 案内看板・注意喚起看板
  - 来店経路
  - 退店経路
  - 搬入経路
  - 歩行者・自転車動線
  - バス停



■敷地内の緑化について  
 敷地面積: 18,303.72㎡  
 必要面積: (18,303.72㎡-1,932.06㎡) × 20%  
 =3,274.34㎡  
 計画面積: 3,362.88㎡



付図3 建物配置図及び1階平面図